

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
応用講座6②							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	2期	大隅 祐輝				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
応用分野				座学	1	10	
科目概要							
<p>人体の構造と機能についての知識を再確認し臨床現場で患者さんを診る時に役立てる様にする。 授業中の課題を組むことで、これまで学んできた知識の再確認と理解を行う。</p>							
目標							
<p>一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標</p>		<p>人体の構造と機能を学ぶ事で、臨床現場で患者さんを複数の視点から観察出来る様になる為に、「解剖学的知識と生理学的知識」を身に付ける。</p>					
<p>到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経の区分、神経組織の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 2. 灰白質、白質の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 3. 脳室、髄膜、脳脊髄液の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 4. 終脳、間脳、脳幹、小脳の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 5. 脊髄の区分、伝導路の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 6. 脳神経の「構造」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 7. 「神経系の機能(静止膜電位・活動電位)」について選択肢から適切なものを選ぶ事が出来る。 					
履修に必要な予備知識や技能							
<p>解剖学的知識(特に神経系範囲) 生理学的知識(特に神経系範囲)</p>							
教科書・参考書							
<p>解剖学:改訂2版 生理学:改訂4版</p>							
受講上の注意							
<p>授業の妨げになる私語には注意すること。</p>							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	人体の構造(解剖学的知識)について 「神経系の区分と特徴・神経組織・灰白質・白質 中枢神経系の区分・脳室系」			解剖学 P217～221	教科書 筆記用具		
第2回	人体の構造(解剖学的知識)について 「髄膜・脳脊髄液・終脳」			解剖学 P221～225	教科書 筆記用具		
第3回	人体の構造(解剖学的知識)について 「終脳・間脳・中脳」			解剖学 P225～228	教科書 筆記用具		
第4回	人体の構造(解剖学的知識)について 「橋・延髄・小脳」			解剖学 P228～230	教科書 筆記用具		
第5回	人体の構造(解剖学的知識)について 「脊髄の区分・伝導路(上行性)」			解剖学 P230～234	教科書 筆記用具		
第6回	人体の構造(解剖学的知識)について 「伝導路(上行性・下行性)」			解剖学 P235～238	教科書 筆記用具		
第7回	人体の構造(解剖学的知識)について 「脳神経」			解剖学 P239～245	教科書 筆記用具		
第8回	人体の構造(解剖学的知識)について 「脳神経」			解剖学 P239～245	教科書 筆記用具		
第9回	人体の構造(生理学的知識)について 「静止膜電位・活動電位」			生理学 P23～27	教科書 筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
osumi@nihonisen.ac.jp							